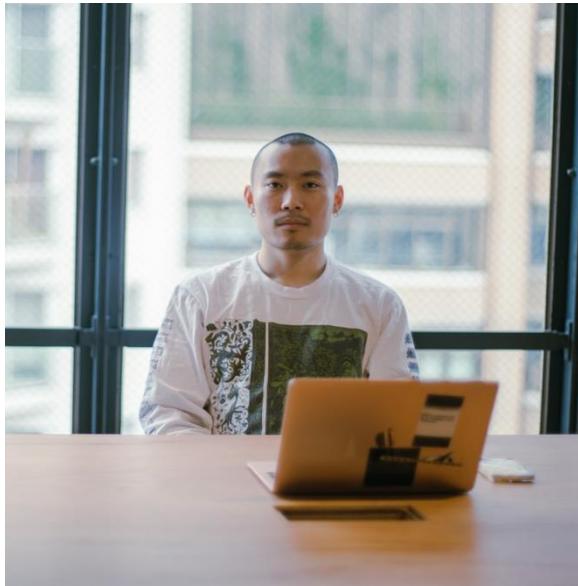


エンタメ・クリエイティブ産業政策研究会 御中



制作・流通の民主化時代における音楽産業支援 — インディペンデントアーティストの海外展開と支援のあり方 —

株式会社CANTEEN 遠山啓一



遠山啓一

1991年、東京都生まれ。慶應義塾大学を卒業し外資系広告代理店に勤務後、2019年にラッパーTohjiとの出会いをきっかけに株式会社CANTEENを設立。20組以上の音楽アーティストと契約し、レーベル/マネジメントサービスを提供している。さまざまなクリエイティブをサポートした経験をもとに会社の機能を拡張し、アートギャラリー運営やクリエイティブコンサルティング、イベント制作を手掛けるグループ会社を設立するなど、音楽を軸に都市文化/クリエイティブ領域のビジネスプロデュースを継続的に展開している。

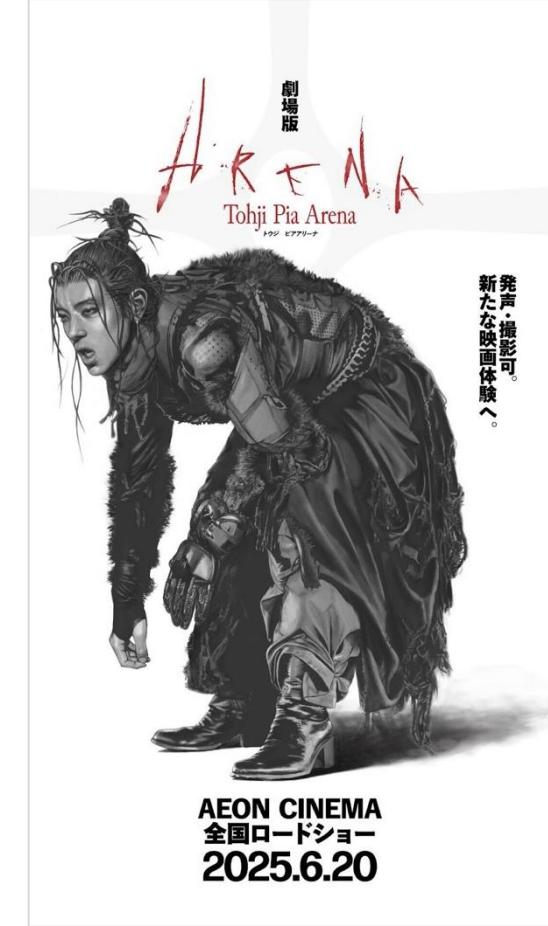
自社事例



自社で企画・制作を一貫したアリーナ興行の成功



多数のDJのワールドツアー実績



自主制作映画を直配給で全国展開



アーティスト自身が**原盤権等の権利を保持**し、ビジネスにおける**意思決定権**を持つ体制
まだ実態が十分に把握されておらず、**公的な支援の対象**になりづらい。

インディペンデントアーティストの特徴



活動形態



メジャー系列でない**独立系レーベル**、または**無所属で少人数のコアチーム**で活動する。



作品の制作から流通までを自身または独立系レーベル主導で行う。



権利関係



原盤権などの権利所在を主体的にコントロールできる。



作品単位、短期間のライセンス契約や非独占契約など柔軟な契約が主流。



制作流通



個人でも使用できるデジタル流通サービスを活用して作品をリリース = **「流通の民主化」**



誰でも世界中のプラットフォームで流通が可能になり、**グローバル展開**が容易に。



New Music Acceleratorは経済産業省令和6年度補正予算による「クリエイター・エンタメスタートアップ創出事業費補助金」を活用した音楽分野の支援事業。インディペンデントで活動する事業者のビジネス拡大・海外進出に向けた多角的なサポートを実施した。

事業者伴走支援

採択事業者

採択者の事業拡大を目標とした伴走支援により、事業者規模や特性ごとの課題を抽出、解決策の検討

自主企画の実施

国内外で興行を実施する上での、事業者の課題感の明確化・採択者を通じた国内外事業者とのコネクション構築

支援内容

ハンズオンでの伴走支援、講義実施、報告会開催
有識者、国内外事業者とのマッチング
1件当たり500万円程度の補助額を想定

事務局による調査・分析

事業者支援を通じたヒアリング

伴走支援過程から、日本市場や事業者の客観的課題の発見・課題解決に向けた分析の実施

国内外事業者へのヒアリング

国内市場や事業者と海外との接合点（構造のギャップやそれに対する戦略）を明確にするヒアリング・リサーチの実施

事業者支援を通じたリソース・ノウハウ蓄積

事業者支援を通じた国内外事業者との新しいコネクションの構築
伴走支援により明確化したノウハウや事業者ニーズの高いスキルセットのための資料公開、業界波及効果の設計

中長期的な目標

1

事業化支援

語学力、権利関係の知識、音楽ビジネスの法律実務、デジタルマーケティング、国内・国外でのネットワークの形成
0-1の事業構築や1-10の事業支援フォーマットの策定

2

高度人材育成

海外における活動に必要なノウハウ・スキルセットビジネスプロデューサー（高度人材）の発掘・育成プログラムの実施

3

海外進出支援

海外進出に必要なチーム/事業構造の明確化
ジャンル・マーケットごとの特色整理
それぞれの事業者に対する海外戦略の整理
支援策の策定



海外市場拡大において、母数が大きく、**少人数・低コストで活動できるインディペンデント層**は**新たな海外展開モデル**として産業全体にインパクトを与えると考えられ、**支援する価値が高い**。

NMA採択者事例：高瀬統也

プロフィール/ポイント

愛知県出身のシンガーソングライター。アジアでの爆発的人気を皮切りに欧米でもプラットフォームを中心にリスナーを拡大。インディペンデントアーティスト、かつスマートチームとしては国内でも有数の規模感を誇る。今年度NMAの採択アーティストの1組。



運営体制

- ・本人 + マネージャー 2名
- ・本人が代表取締役を務める法人
- ・マネージャーはライブハウスでの勤務経験

少人数のコアチームで海外のライブハウス・ホール公演を運営できる

高瀬統也

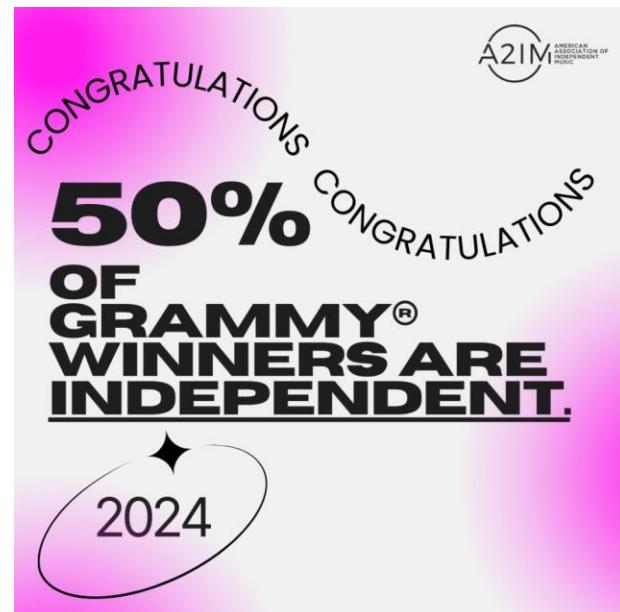
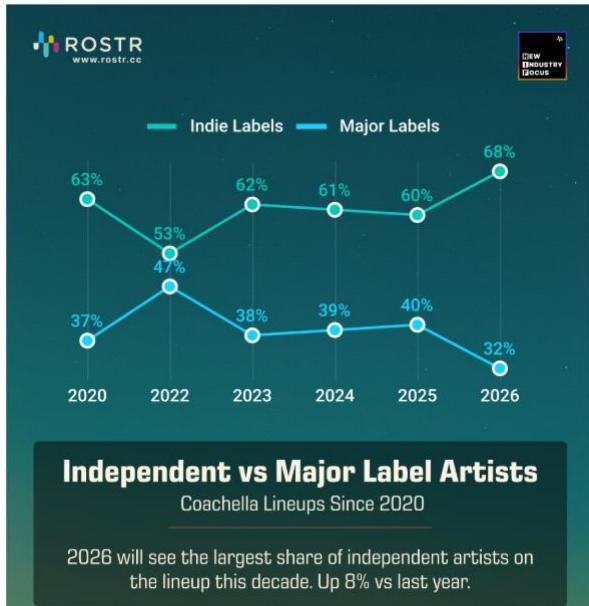


高瀬統也ワールドツアー2025 世界各地で多数の動員を記録

国・地域	実施日
台北	2025年7月30日
ソウル	2025年8月2日
香港	2025年8月17日
深圳	2025年8月19日
北京	2025年8月21日
上海	2025年8月23日
バンコク	2025年9月2日
クアラルンプール	2025年9月4日
シンガポール	2025年9月6日
ジャカルタ	2025年9月8日

— インディペンデントによる世界的な市場規模拡大 —

国外



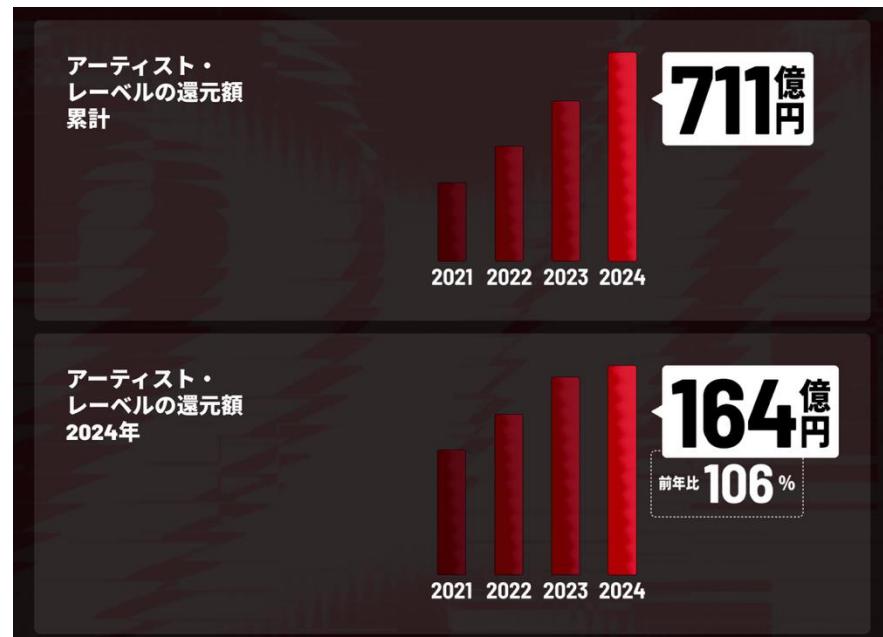
世界最大規模のCoachellaフェスティバルにおいてインディペンデントアーティストの割合は年々高まり、2026年にはラインナップの68%を占める。またグラミー賞でも2024年にはインディペンデントアーティストが受賞者の50%を占めた。

参照：[Who Booked Coachella? The companies & data behind 2026's lineup | New Industry Focus](https://www.rostr.cc/2026-coachella-lineup-analysis/)
[Half of 2024 GRAMMY® Winners are Independent!](https://www.grammy.com/2024-grammy-winners-are-independent)



音楽の海外市場拡大のためには **インディペンデント層への支援** が不可欠

国内



日本でも2024年にはTuneCoreのアーティストへの還元額が累計711億円にのぼるなど、インディペンデント層のプレゼンスが拡大し続けており、これらの育成やボトムアップの必要がある。

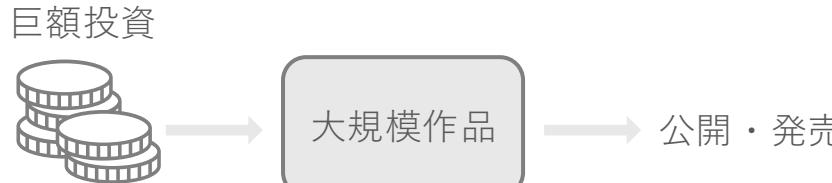
参照：[Tune Core JAPAN MUSIC STATS2024](https://tunecore.jp/japan-music-stats-2024/)

音楽産業におけるひとつのスタートアップの形



音楽産業のファイナンスは他産業とは異なる投資スキームを設計する必要がある。単作品への大規模な制作費支援モデルではなく、アーティストを一つの事業単位と捉え、制作費や活動費を一体とした包括的および中長期スパンでの支援が求められる。

ゲーム・アニメ型

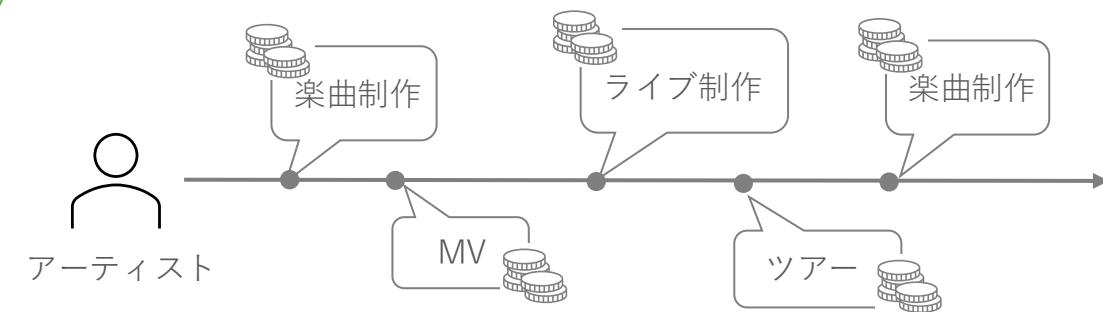


例) アメリカの映像の平均制作費は53億円

- ✓ プロジェクトベースの投資・回収
そのため完成保証や製作委員会に基づくスキームを適用できる。

- ✓ 一作品あたりの制作費は大きいが時間軸は比較的短い。

音楽型



- ✓ アーティストが一つの事業単位であり、楽曲・ライブ制作・ほか複合的な活動が支援（投資）の対象になる。

- ✓ 成果が出るまでの時間軸が長く、5~10年など中長期的な支援が適切。



音楽産業の海外展開に向けては「ファンダム形成」に加えて「シーンへの接続」という考え方を戦略的に組み込んでいく必要がある。
そのために海外にある文脈やシーン、商流を理解した上でのプロモーション設計が不可欠。

第8回エンタメ・クリエイティブ産業制作研究会 資料4 事務局資料p.39参照

流通網強化・ファンダム形成に向けて

① ローカライズ

作品を海外向けに翻訳する
相手国の文化に合わせた表現
海外市場への提供前提での制作

② 流通網

大規模かつ長期の投資が必要
開発/買収したプラットフォーム
の普及への戦略性

③ プロモーション

1つの知的財産を多角的に展開
クリエイターからファンまで
インフルエンサーを活用

音楽の場合



アーティスト同士の交流



地域ごとの戦略策定
JETRO活用



シーン分析に基づいた
ターゲットに刺す
プロモーション



C A N T E E N